

案内板 (PA-I-1) 施工の手順-1

※作業前に所定の材料部材がそろっているか確認してください。

△ 注意

1. プラ擬木は重量物です。転倒や落下にご注意ください。
2. 擬木は温度変化によって伸縮します。
早朝は5~10mm短くなる場合がありますし、直射日光に当たりますと5~15mm伸びる場合があります。
施工直前までブルーシートを掛ける等、直射日光に当たらないようにして下さい。

■ 施工方法

- ① 案内板を据える表方向を確認し、樹脂の注入口【参考1】が裏側になるように支柱1を建てます。
その際、支柱が鉛直に立っていることを確認し、コンクリート面にくさびなどを入れ、ぐらつかないよう仮固定してください。
- ② 支柱1と上下横木を固定します。
上下各横木の溝切り部を板面側に向けて支柱1ザグリ孔に差し込み、反対側から全ネジボルトで仮固定します。
- ③ もう一方の支柱2と板面（別途手配）を取り付けます。
板面を上下横木の溝切りに差し込みながら、横木を支柱2に差し込みます。
このとき、板面が溝にしっかりと固定されていることを確認してください。
全ネジボルトを支柱2の方から差し込み、横木のリングナットに仮固定します。
- ④ 本体の鉛直・水平を確認し、ラチェット等で本締めします。
最後に図2・3のようにコーススレッドで端末を固定し、詰栓で孔を塞ぎます。
(一度詰栓を叩き込むと外れませんのでご注意ください。)

準備工具類

1. 24mm ラチェットレンチ
2. ハンマー・カケヤ
3. 24mmスパナ
4. コーキングガン
5. インパクトドリル プラスビット#2

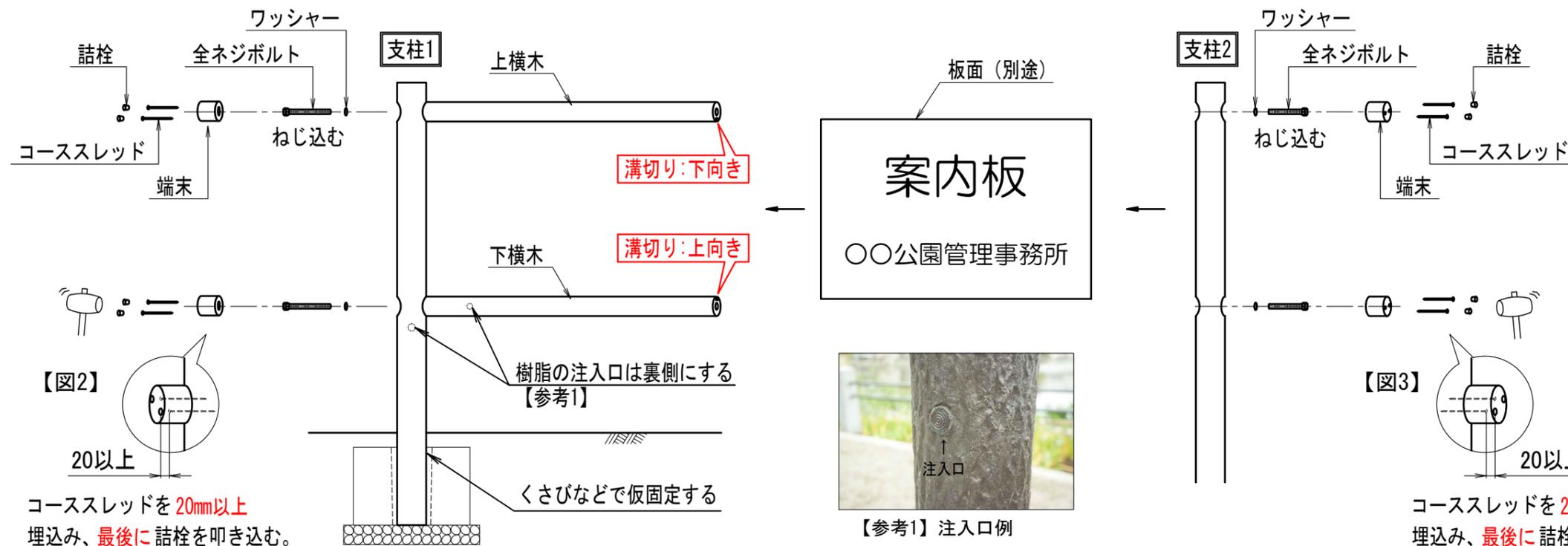


<端末セット>



<全ネジボルトセット>

【図1】



【図2】

コーススレッドを 20mm以上埋込み、最後に詰栓を叩き込む。



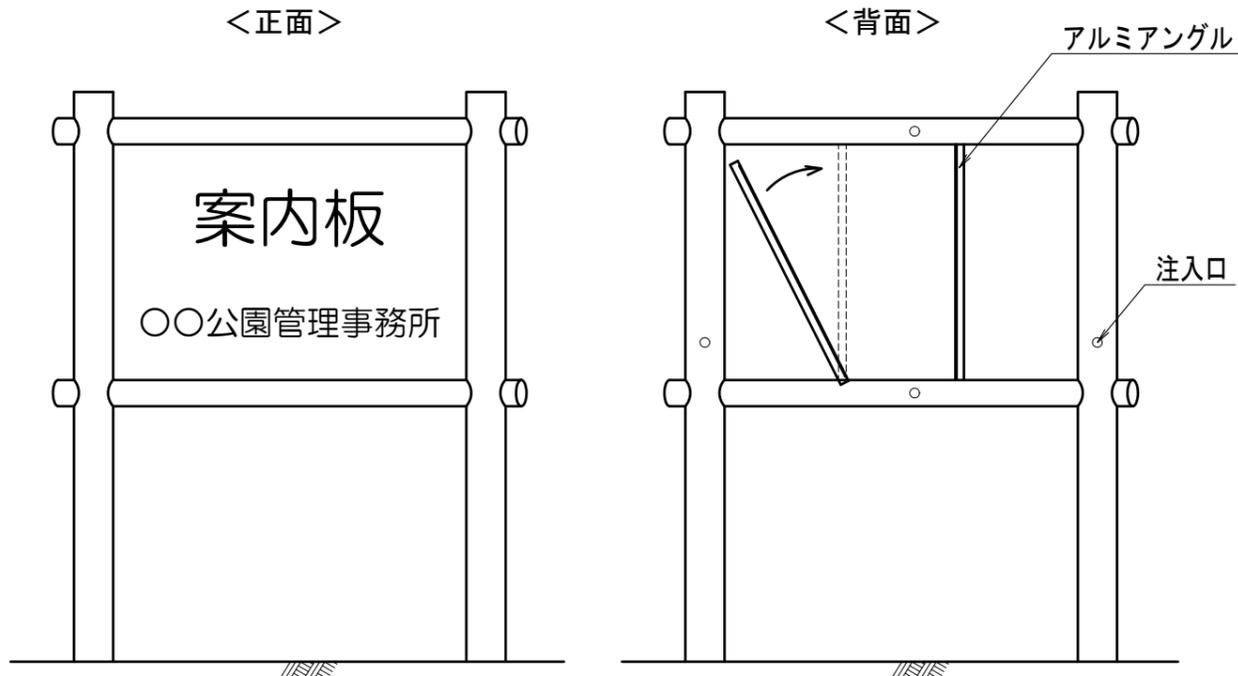
【参考1】注入口例

【図3】

コーススレッドを 20mm以上埋込み、最後に詰栓を叩き込む。

案内板 (PA-I-1) 施工の手順-2

- ⑤ 案内板の背面側にアルミアングルを2本取り付けます。
 その際、アングルを斜めにし、下横木の溝切部に先端部を差し込み、起こすようにして上横木の溝切部にもう一方の先端部を差し込みます。【参考2・3】

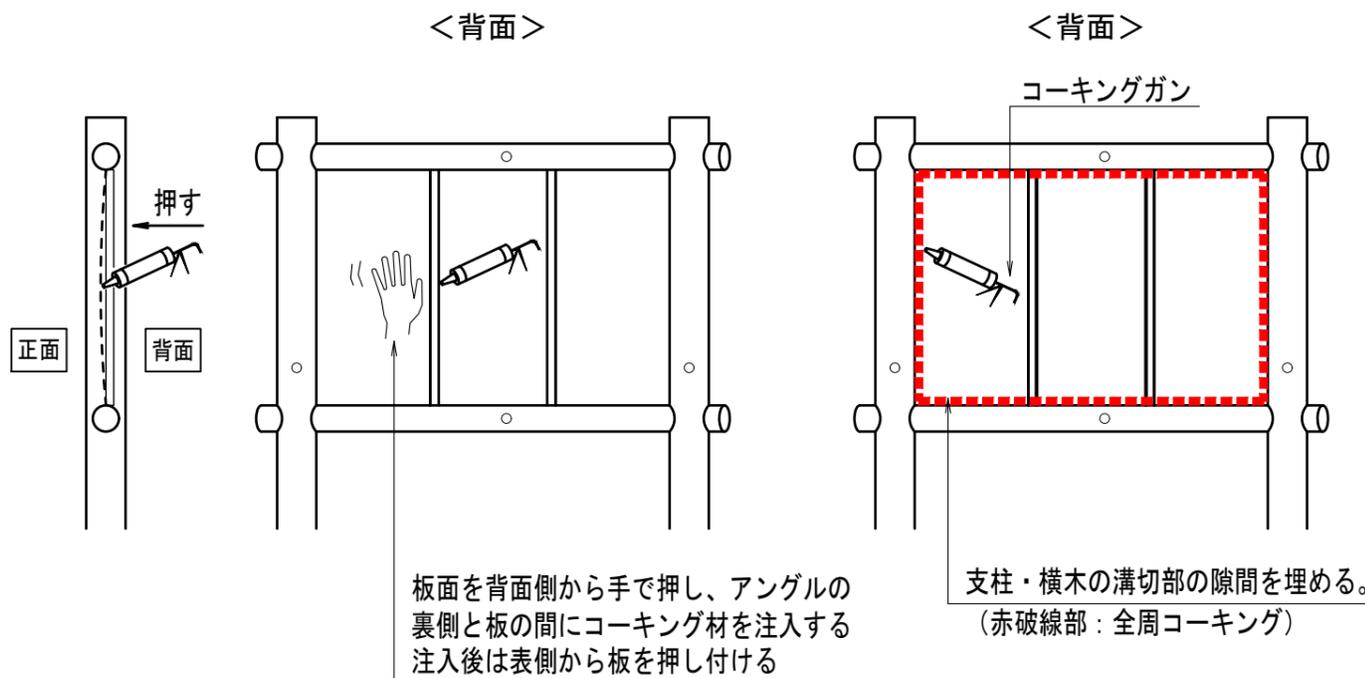


【参考2】アルミアングル取付
横木溝切部に差し込む



【参考3】アルミアングル取付
アングルが2本背合わせになるよう取付ける

- ⑥ 仕上げに、板面裏側外周の隙間【参考4】、アングルと板面の間をコーキングで埋めます。



＜コーキング材＞



【参考4】コーキング例

- ⑥ 完成

